

授業科目 社会福祉援助技術論Ⅱ

【担当教員名】 村上信	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

<概要>

社会福祉の諸施策をサービス利用者にとって価値あるものにするために、福祉施策を具体化していく過程で不可欠なソーシャルワーク（社会福祉援助技術）に関する全体系を総合的に学ぶ。

総論Ⅱは、ソーシャルワークの総合化、対象別・分野別専門分化、チームワークおよびケアマネジメント、サポート・ネットワーク、エンパワーメントなど新しく開発され実践されている技法について学習する。

<学習目標>

1. ソーシャルワークの理論の動向と最近の理論の特質について理解する。
2. ソーシャルワーク実践の視点と実践過程を理解する。
3. 事例を通してソーシャルワークがとらえるニーズと社会資源の連結・調整について学習する。
4. 社会福祉の理念や制度構造に関わる改革と関連してソーシャルワーク実践のありようについて考察を深める。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	理論の動向（1） 新しい社会福祉のニーズに対応する理論の動向について学ぶ	講義	
2	理論の動向（2） ライフモデルと生態学的視座について学ぶ		
3	理論の動向（3） エンパワーメント・アプローチと社会構成的アプローチについて学ぶ		
4	福祉改革と援助技術 制度・政策の動向が実践・技術の体系に及ぼす影響について理解する		
5	展開過程（1） ソーシャルワークの展開過程を理解する		
6	展開過程（2） ソーシャルワークの展開過程、特にアセスメントについて事例で学ぶ		
7	展開過程（3） 展開過程のうち、特にモニタリングと評価について事例で学ぶ。		
8	ケアマネジメント（1）ケアマネジメントの概念と構成要素について学ぶ		
9	ケアマネジメント（2）ケアマネジメントとソーシャルワークの関連について理解する		
10	ニーズと社会資源 社会資源とは何か、事例を用いて社会資源活用上の留意点を理解する		
11	専門的援助関係（1） 専門的な援助関係とは何かについて学ぶ		
12	専門的援助関係（2） ソーシャルサポートについて学ぶ		
13	専門的援助関係（3） 援助関係とコミュニケーション技術について学ぶ		
14	まとめ 全体を通してのまとめをする		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	『社会福祉援助技術論Ⅰ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2003年版でも可
	『社会福祉援助技術論Ⅱ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2003年版でも可
参考書	社会福祉援助技術論というタイトルで出版されている書物、たとえばミネルヴァ書房や有斐閣、建帛社、全社協などの出版物			
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する			
【評価方法】 定期試験		【履修上の留意点】		